



うめばち

<http://www.dai8-e.ymgt.ne.jp>
school@dai8-e.ymgt.ed.jp

「自分らしく咲く」～第八小学校のシンボルに込めた願い～



4月8日（水）の始業式では、新しい一年のスタートにあたり、本校のシンボルである「うめばち」についてお話ししました。これは、近隣にある小白川天満宮の象徴であり、梅をかたどったものです。



梅の花は、厳しい寒さの中でも自分の力で静かに花を咲かせます。また、その形に似た「ウメバチソウ」という花も、派手ではありませんが凛とした美しさを持っています。これら二つの花に共通するのは、「自分の場所で、自分らしく咲く」ということです。

本校が大切にしている理念に「環境化無為（かんきょうかむい）」という言葉があります。これは「無理に変えようとするのではなく、環境を整えることで、自然とよくなっていく」という意味です。

学校も同じです。一人一人が安心して過ごし、挑戦できる環境や、お互いを認め合う関係が整うことで、子ども達は自分らしく花を咲かせることができます。

その先にある目標が、「愉（たの）しいくらしを創る」ことです。「楽しい」という気持ちは、誰かから与えられるものではなく、自分たちで創り出していくものです。周りの人を大切にしながら自分の役割を果たすことで、学校はもっと楽しい場所になります。

今年一年、梅の花のようにたくましく、自分たちの手で環境を整えながら、共に「楽しいくらし」を創っていきましょう。

ようこそ八小へ！ご入学おめでとうございます。



満開の桜と美しい自然に囲まれ、伝統の校歌舞踊で新一年生を迎えました。ご入学、誠におめでとうございます。

新入生のみなさんは、瞳をきらきら輝かせ、名前を呼ばれると「はい！」と返事をして立ち、静かに話を聞き、立派な態度で式典に参加することができました。



式辞では、「うめばち」の由来である「梅の花」になぞらえ、子どもたちにも、「あわてなくていい、ゆっくりでいい、自分のペースで花を咲かせてほしい。」というメッセージを送りました。

勉強や遊びを楽しみながら、たとえ上手いかない日があっても、先生や友達と一緒に一歩ずつ大きくなっていけるよう見守ってまいります。



子どもたちにとって、つまずきもまた、成長へとつながる大切な一歩です。一人一人がそれぞれの歩みの中で花を咲かせられるよう、私たち教職員一同、心を込めて環境を整えてまいります。

これからも、学校・家庭・地域で力を合わせながら、子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

裏面に続く

年長児～1年生の『育ちの架け橋』わくわくタイム



幼稚園や保育園の子どもたちは、遊びを通して社会性や自立性・創造性等を高めます。

本校では、昨年度より、1年生のスタートカリキュラムの一環として、1校時目の前半に「集団遊び」



や「個人遊び」を設定しています。その中で、仲間と過ごす楽しさや自ら活動する楽しさ等を味わわせ、緩やかに小学校生活に馴染んでいけるように支援して参ります。これは、文部科学省が推奨している「架け橋プログラム」と捉えています。

意図的に集団遊びを設定したり個人遊びを取り入れたりしながら、子ども一人一人の様子から「学び」を生み出し、学校生活に対する子どもにとっての「期待感」や「やりがい」に繋げていければ、と考えています。



子どもたちの様子を見てみると、初めは一人遊びが多かったようですが、次第につながりが生まれ、笑顔

で会話したり、作っているものや遊び方を説明し合ったりする姿が見られるようになり、嬉しく思っています。



4月から13名の転入者を迎え、新しいメンバーでスタートしました。
よろしくお願ひ致します。
(転入者名については、紙ベースの学校だよりをご覧ください。)

